小原田小学校だより

【教育目標】心身ともに健全で正しい判断力を持ち、自主性･創造性に満ち、心豊かなたくましい児童の育成

〇すすんで学習する子（知）　〇思いやりのある子（徳）　〇たくましい子（体）

第１７号　令和２年７月３日発行

道徳教育について

道徳が教科「道徳科」になって３年目になります。なぜ、教科になったのか、その理由の一つは、いじめが多発して深刻な社会問題となったことや将来の社会の変化に対応できる能力の育成が急務となったことなどです。そのため、以前に比べ道徳の学習に力を入れて教育して、よりよい人格形成を目指すことをねらいとしたということです。小学校では子どもたちが学ぶべき内容が２２あります。その中で、今年度本校の重点としているのが、次の４つです。

〇**善悪の判断、自律、自由と責任**
- １・２年生…よいことと悪いこととの区別をし、よいと思うことを進んで行うこと。
- ３・４年生…正しいと判断したことは、自信をもって行うこと。
- ５・６年生…自由を大切にし、自律的に判断し、責任ある行動をすること。

〇**親切、思いやり**
- １・２年生…身近にいる人に温かい心で接し、親切にすること。
- ３・４年生…相手のことを思いやり、進んで親切にすること。
- ５・６年生…誰に対しても思いやりの心をもち、相手の立場に立って親切にすること。

〇**規則の尊重**
- １・２年生…約束やきまりを守り、みんなが使う物を大切にすること。
- ３・４年生…約束やきまりの意義を理解し、それらを守ること。
- ５・６年生…法やきまりの意義を理解した上で進んでそれらを守り、自他の権利を大切にし、義務を果たすこと。

〇**生命の尊さ**
- １・２年生…生きることのすばらしさを知り、生命を大切にすること。
- ３・４年生…生命の尊さを知り、生命あるものを大切にすること。
- ５・６年生…生命が多くの生命のつながりの中にあるかけがえのないものであることを理解し、生命を尊重すること。

以上の４つの内容項目について、全校生にアンケートを実施して、現状を把握しました。「あてはまる、ややあてはまる」という答が、

〇善悪の判断、自律、自由と責任（よいことと悪いことの区別がつくか）→７６．９％
〇親切、思いやり（友だちに親切にしているか）→９４．１％
〇規則の尊重（約束やきまりを守っているか）→９４．８％
〇生命の尊さ（命を大切にしているか）→９７．９％

となりました。

道徳科の授業では、自分の考えと友だちの考えとを比べたり、様々な状況において自分のこととして考えたりすることをとおして、多様な見方や考え方ができる児童に育てていくことを大切にしています。また、道徳性を養うためには、道徳科の授業とともに他の教科の学習や学校生活全体、そして、家庭生活等、あらゆる場面での経験が大切になってきます。

今後、学校と家庭で連携して子どもたちの道徳性を養っていきたいと思います。